

2014年3月期 第2四半期決算説明会

2013年11月7日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<http://www.nihonkohden.co.jp>

Fighting Disease with Electronics



第2四半期決算の概要 (連結)

Fighting Disease with Electronics

1) 当第2四半期の決算概要

(単位: 百万円、単位未満切捨て)

	前第2四半 期累計 (2012/9)	当第2四半期累計(2013/9)		
		期初予想	実績	対前年同期増減率 (%)
売上高	60,581	66,000	67,148	10.8
国内売上高	49,804	—	53,249	6.9
海外売上高	10,777	—	13,899	29.0
営業利益	5,410	5,700	5,299	△ 2.0
経常利益	5,189	5,700	5,787	11.5
四半期純利益	3,134	3,700	3,464	10.5

← 為替換算: 約+18億円(+17%)

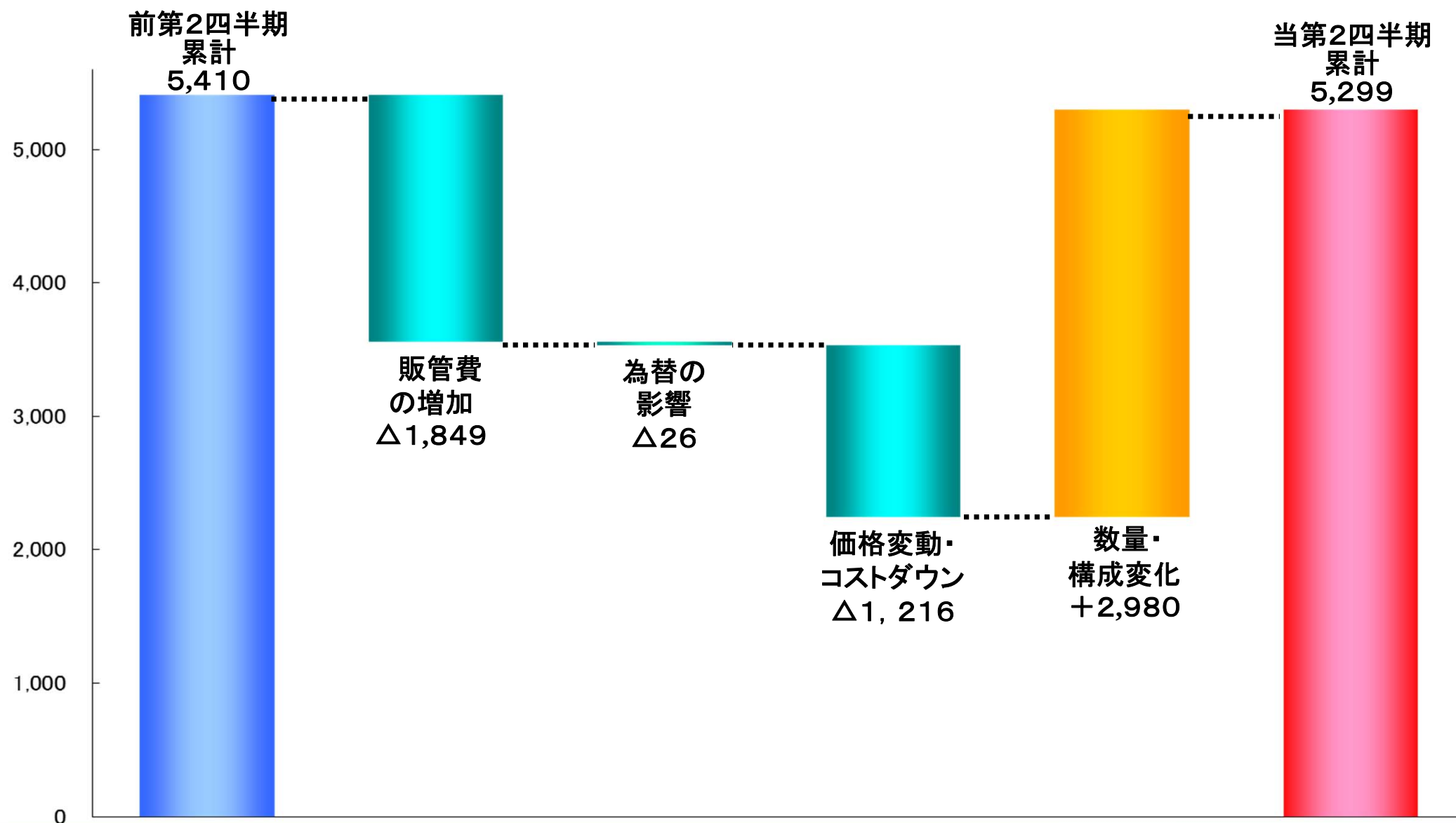
← 粗利率: 50.5%→49.4%
販管費率: 41.6%→41.5%

← 為替差益: 約3億円

平均レート	(2012/9)	(2013/9)
1ドル	80	97.6
1ユーロ	101	128.4

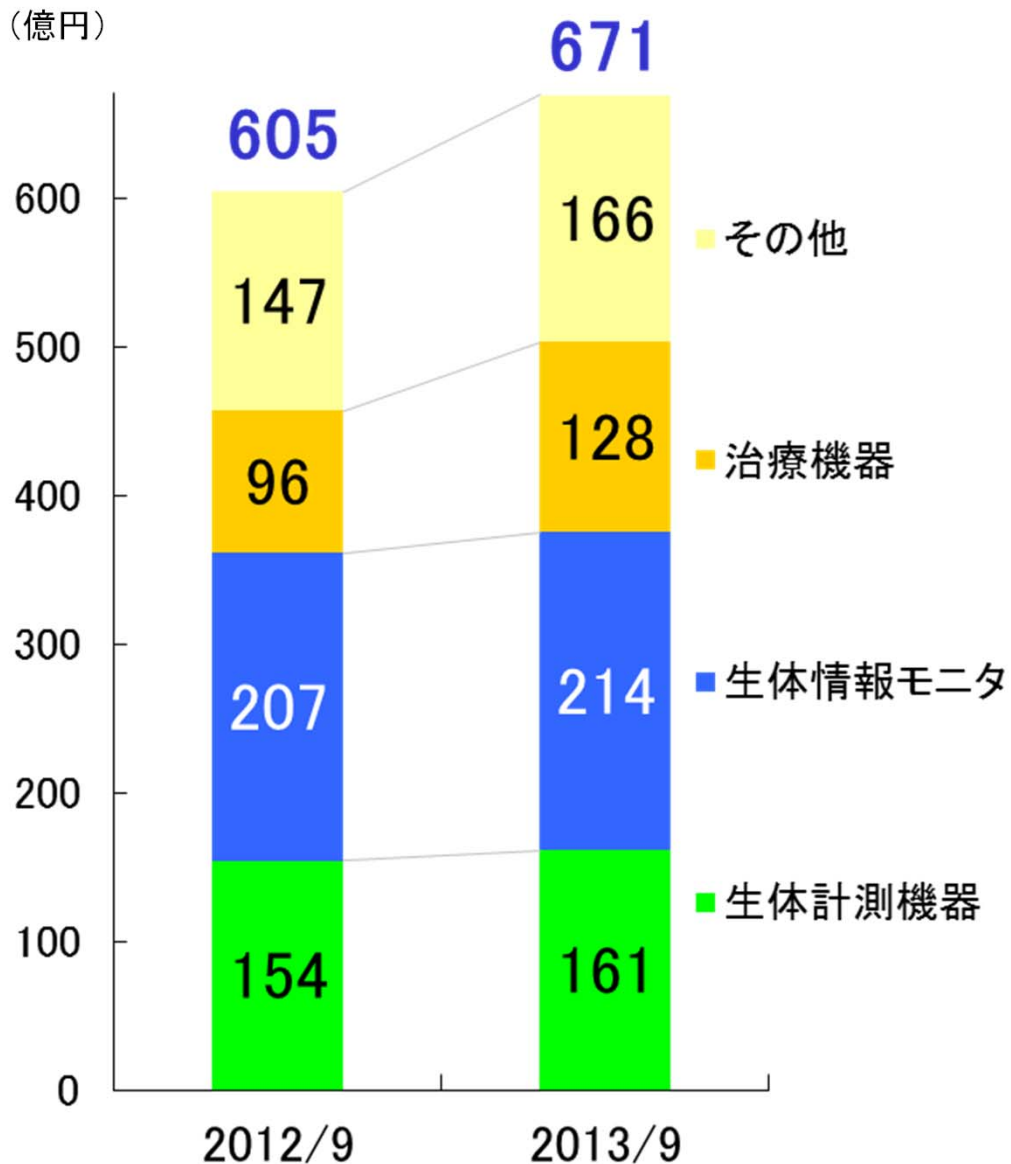
2) 営業利益増減の要因分析

(単位: 百万円)



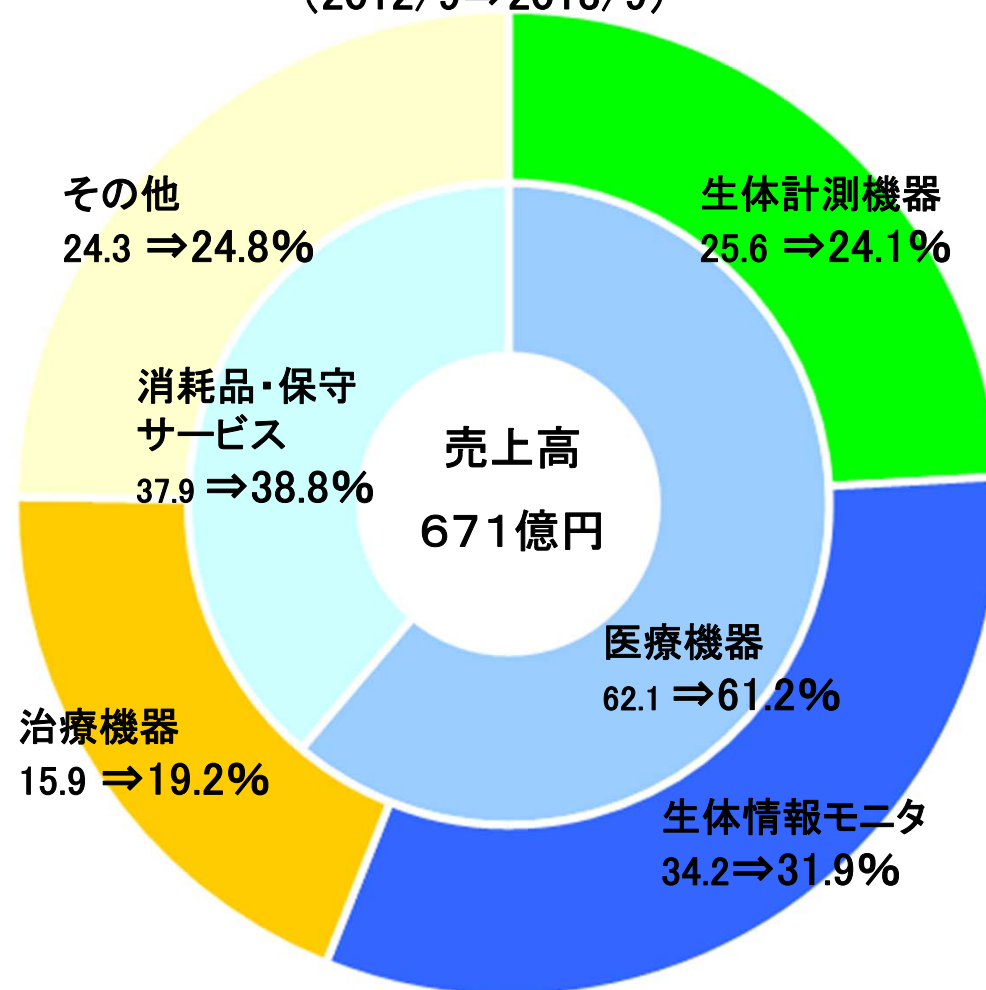
3) 商品群別売上高

(億円)



商品群別売上構成比

(2012/9⇒2013/9)



3.1) 生体計測機器

	前第2四半期 累計(2012/9)	当第2四半期 累計(2013/9)	増減率(%)
脳 神 経 系 群	4,008	4,224	5.4
心 電 計 群	3,345	3,432	2.6
心臓カテーテル検査装置群	4,107	4,323	5.3
そ の 他	4,020	4,212	4.8
生 体 計 測 機 器 合 計	15,481	16,193	4.6
う ち 国 内 売 上 高	12,647	12,774	1.0
う ち 海 外 売 上 高	2,833	3,418	20.6

(単位:百万円)

心臓カテーテル検査装置群が
好調に推移

脳神経系群、心電計群ともに、
全ての州で好調

※ その他には、診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。



脳波計 EEG-1250



心電計 ECG-2500



臨床用ホリグラフ RMC-4000

3.2) 生体情報モニタ

(単位: 百万円)

	前第2四半期 累計(2012/9)	当第2四半期 累計(2013/9)	増減率(%)
生体情報モニタ合計	20,738	21,435	3.4
うち国内売上高	15,399	15,558	1.0
うち海外売上高	5,338	5,877	10.1

センサ類などの消耗品が好調

米州、アジア州、その他地域で好調



ベッドサイドモニタ
BSM-6000シリーズ



セントラルモニタ
CNS-6201



送信機
ZS-630P、ZS-611P



SpO₂
プローブ



CO₂測定用
酸素マスク



心電図
電極

消耗品関連

3.3) 治療機器

(単位: 百万円)

	前第2四半期累計 (2012/9)	当第2四半期累計 (2013/9)	増減率(%)
医科向け除細動器	1,892	2,139	13.1
A E D	3,211	5,609	74.7
ペースメーカー・ICD	1,224	1,503	22.8
人工呼吸器	1,020	923	△ 9.6
その他	2,284	2,708	18.6
治療機器合計	9,634	12,884	33.7
うち国内売上高	8,618	10,174	18.1
うち海外売上高	1,015	2,710	166.8
(参考)AED販売台数	17,300	34,100	97.1
うち国内販売台数	16,400	19,700	20.1

【国内】ラインアップの充実や
更新需要の取り込みにより大幅増


AEDリモート監視システム



AED-2150, 2151, 2152

【海外】全ての地域で大幅増
・デフィブテック社の寄与



・台湾で一般市民の
AED使用が解禁



公定価格の引き下げ等で
低調だった前年同期を上回る

迷走神経刺激装置や
イリゲーションカテーテルが好調



除細動器
TEC-8300



AED-2150



心臓ペースメーカー Nuance DR RF



人工呼吸器HAMILTON-C1

3.4) その他

(単位: 百万円)

	前第2四半期累計 (2012/9)	当第2四半期累計 (2013/9)	増減率 (%)
検体検査装置	3,578	3,982	11.3
変成器、画像診断装置、 研究用機器他 ※	11,141	12,653	13.6
その他合計	14,727	16,635	13.0
うち国内売上高	13,138	14,742	12.2
うち海外売上高	1,589	1,893	19.1

【国内】血球計数器が好調。
新商品CHM-4100も寄与



MEK-7300 MEK-6500 CHM-4100

【海外】全ての地域で血球
計数器・試薬が好調に推移。
特にインドで大幅増。

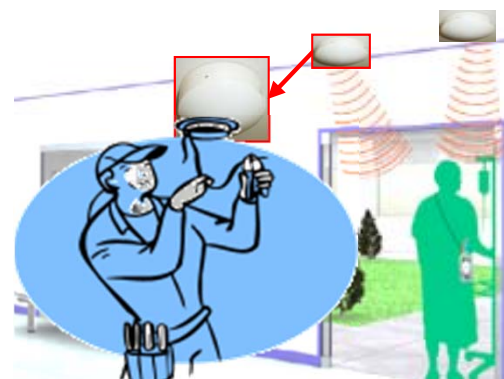
※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。



全自動血球計数器
MEK-6500



臨床化学分析装置
CHM-4100

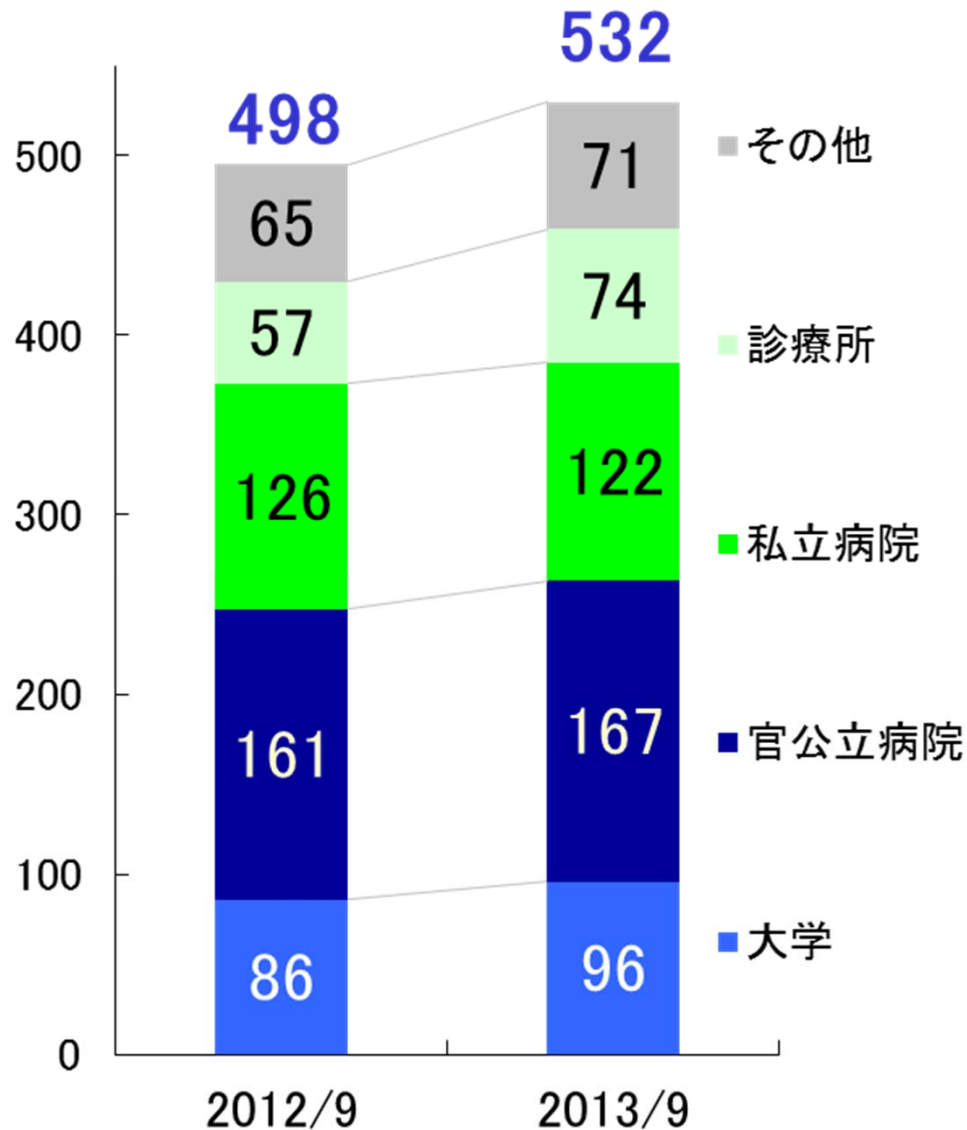


設置工事・保守サービス

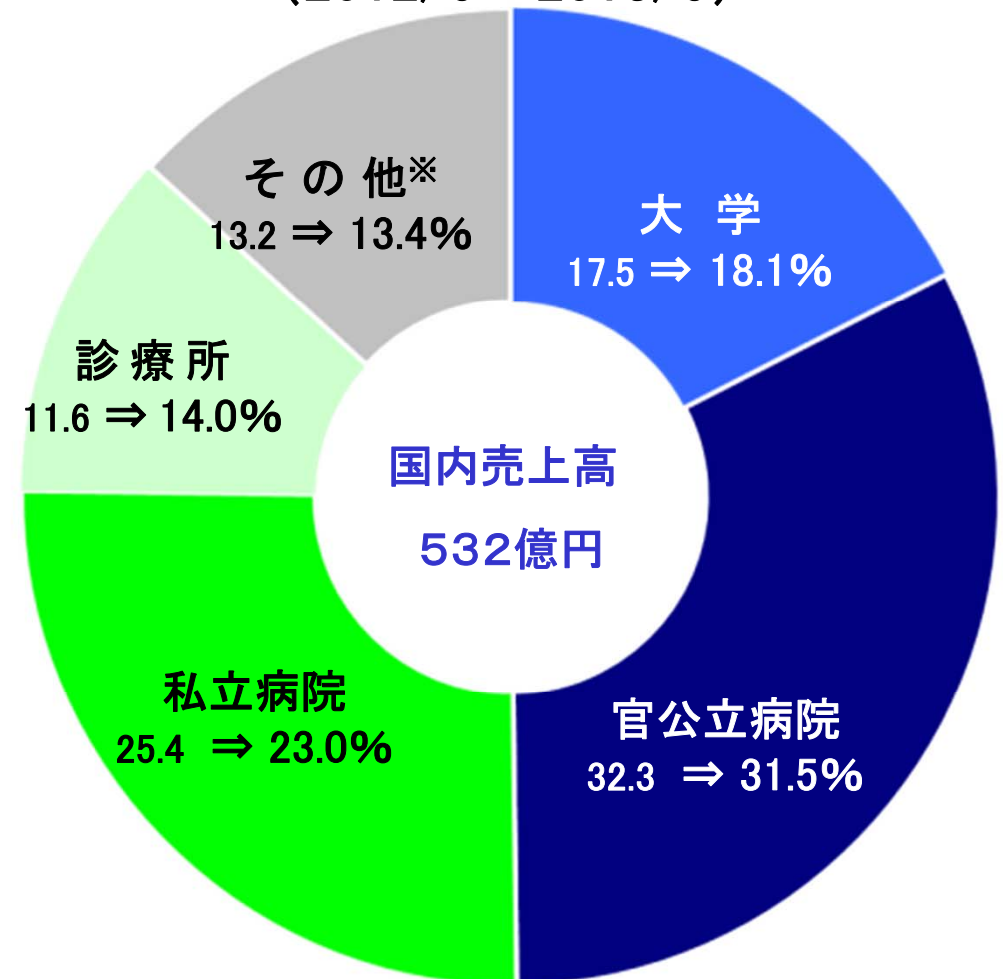
4) 国内売上高

【市場別売上高】

(億円)



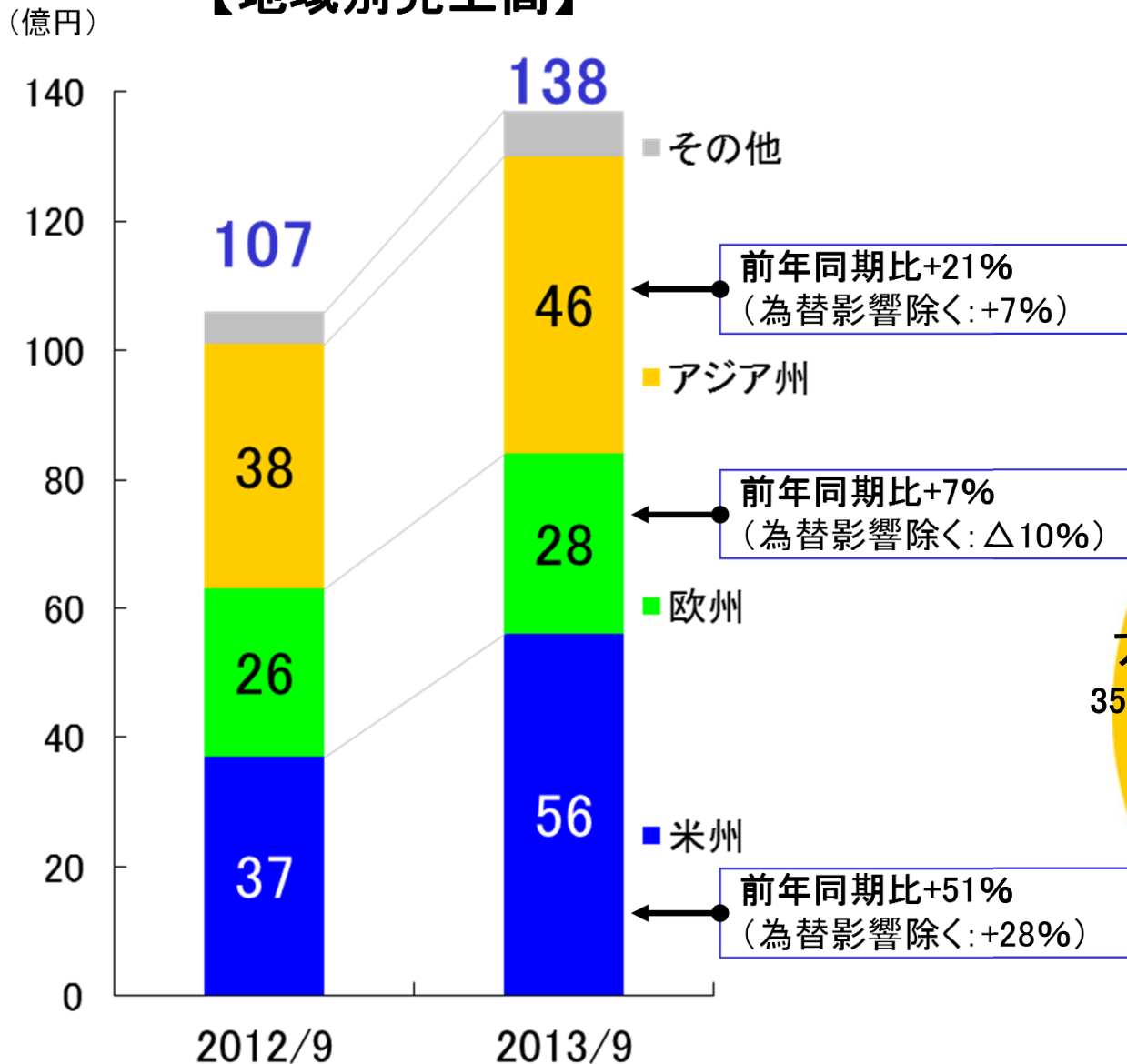
市場別売上構成比
(2012/9⇒2013/9)



※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

5) 海外売上高

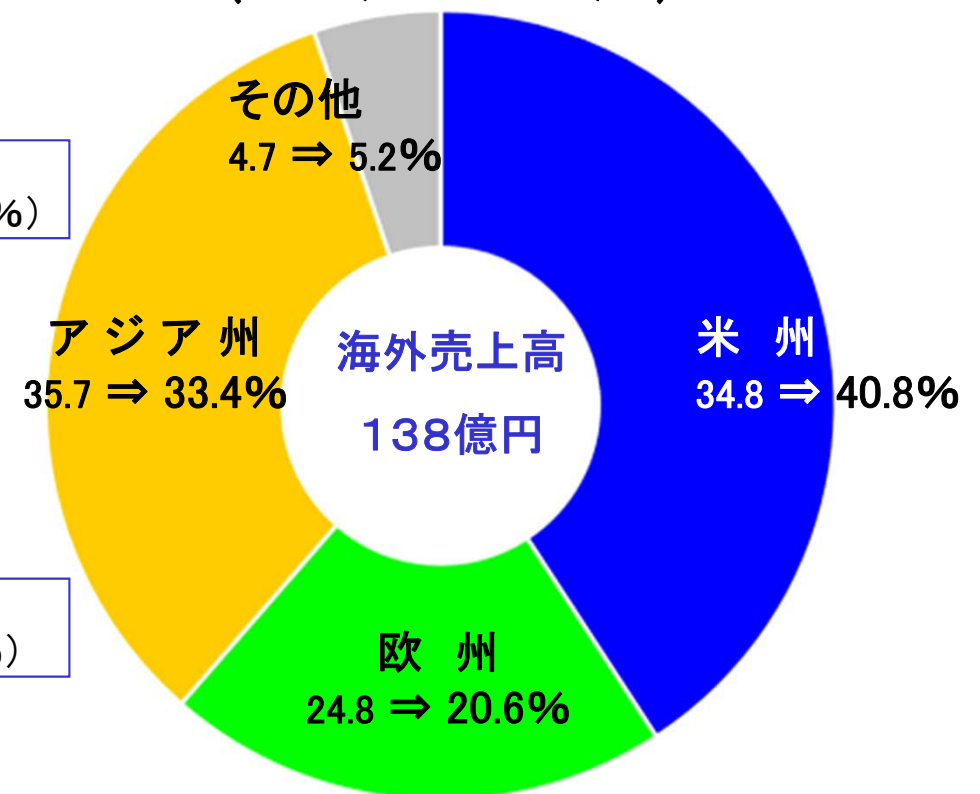
【地域別売上高】



海外売上高比率

2012/9	2013/9
17.8%	20.7%

地域別構成比
(2012/9⇒2013/9)



6) 財政状態

(単位: 百万円)

	前期末 (2013/3)	当第2四半期末 (2013/9)	増減額
流動資産	95,181	90,364	△ 4,816
固定資産	21,619	21,982	363
資産合計	116,800	112,347	△ 4,453
流動負債	39,028	31,178	△ 7,849
固定負債	1,515	1,580	64
負債合計	40,544	32,758	△ 7,785
純資産	76,256	79,588	3,331
負債・純資産合計	116,800	112,347	△ 4,453

7) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2012/9)	当第2四半期 累計(2013/9)	2013/3 前期実績	2014/3予想	
				期初	11月1日修正
設備投資額	1,207	1,443	3,143	3,900	5,700
減価償却費	1,295	1,400	2,853	3,500	3,500
研究開発費	2,866	3,267	6,424	7,300	7,300

●設備投資の上期実績

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品 他

●下期計画における主な案件

新製品の「型」投資、販促用製品、
ERPシステム(5億円)

【新規】富岡新工場の取得(18億円)

生産規模の拡大と効率化のため
生産体制を強化

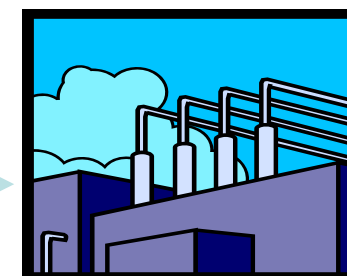


第1工場
約19,000m²



第2工場
約10,000m²

主な生産
機能を集約



新工場床面積
約26,000m²

通期の業績見通し

Fighting Disease with Electronics

1) 経営環境

国内

2025年医療・介護の将来像

- ・医療機関の機能分化・強化と連携
- ・医療と介護の連携、在宅医療の充実

医療関連イノベーションの推進

- ・医療機器審査の迅速化
- ・医療輸出の推進
- ・「日本版NIH」の検討

地域医療再生基金事業

交付金総額: 6,050億円

実施期限: 平成25年度末までに事業を開始

海外

米国

緩やかな回復基調を維持

欧州

財政問題の影響続く

新興国

- ・アジア、中南米を中心に安定成長
- ・日中関係の影響は、徐々に解消

2) 通期の業績見通し

(単位: 百万円)

	2013/3 前期実績	2014/3予想	増減率 (%)
売上高	132,538	145,000	9.4
国内売上高	110,215	113,500	3.0
海外売上高	22,322	31,500	41.1
営業利益	13,484	15,000	11.2
経常利益	14,658	15,000	2.3
当期純利益	9,151	9,500	3.8

売上総利益・販売管理費の見通し

- ・粗利率: 生体情報モニタ等の主力商品の販売増により、下期の粗利率は上期より改善する見通し
- ・販売管理費: 期初計画水準

海外売上高比率 16.8%

21.7%

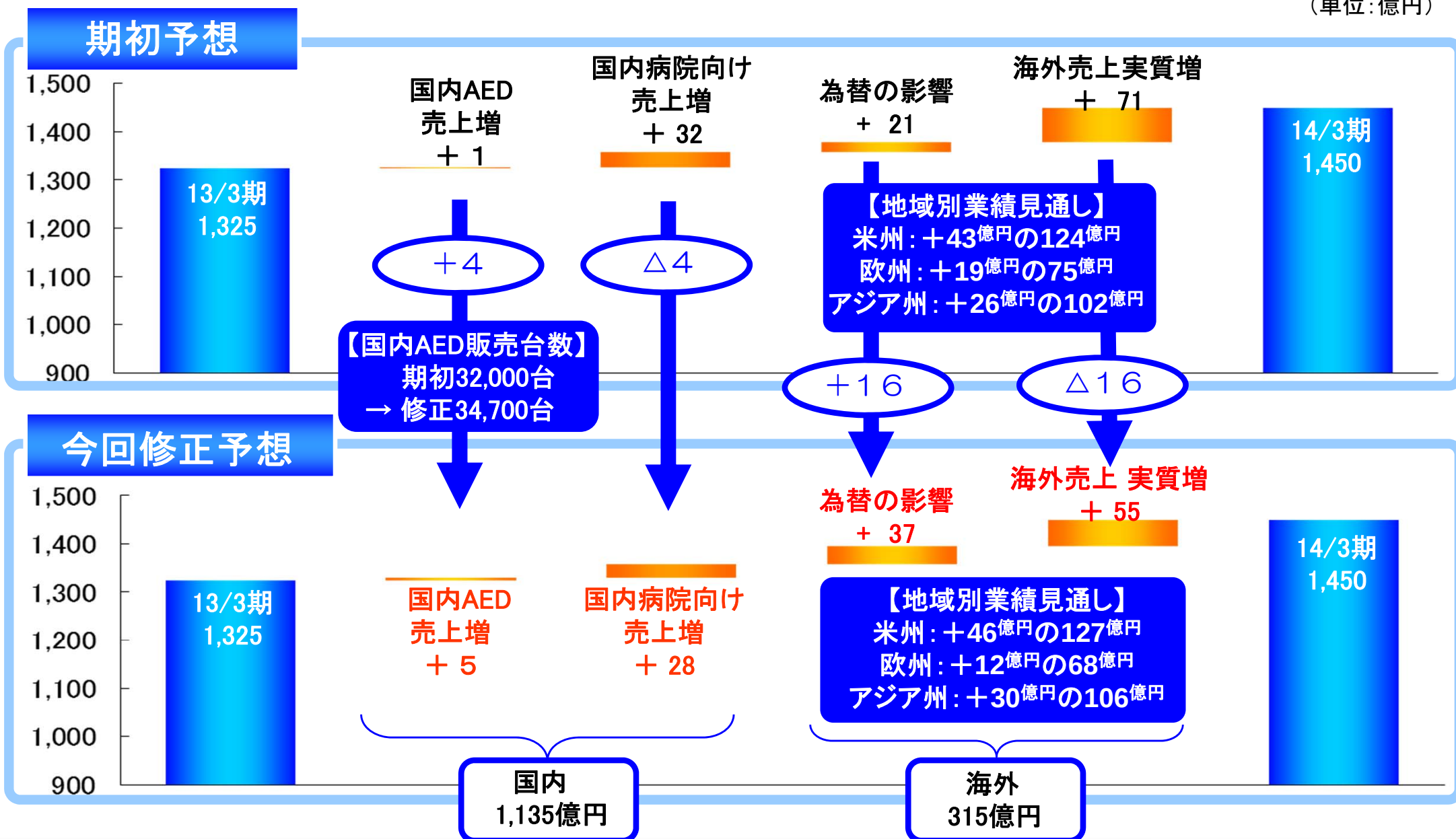
為替の前提を見直し

平均レート		
1ドル		83円
1ユーロ		106円

5/8時点	11/1時点	(下期)
90円	98円	98円
118円	130円	132円

3) 売上見通しの要因分析

(単位: 億円)



[参考]商品群別売上高見通し

(単位:百万円)

	2013/3 前期実績	2014/3予想		増減率(%)
		期初	11月1日修正	
生 体 計 測 機 器	33,871	36,900	36,400	7.5
生 体 情 報 モ ニ タ	43,661	47,900	48,000	9.9
治 療 機 器	21,604	26,250	26,800	24.1
そ の 他	33,400	33,950	33,800	1.2
売 上 高 合 計	132,538	145,000	145,000	9.4

(ご参考)

消 耗 品 ・ 保 守 サ ー ビ ス	49,149	52,200	53,000	7.8
---------------------	--------	--------	--------	-----

当社の経営戦略

Fighting Disease with Electronics

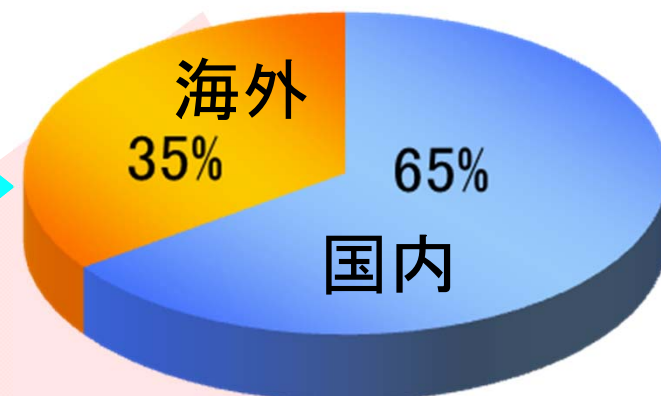


1) 長期ビジョンと中期経営計画

長期ビジョン (2010/4～2020/3)

The CHANGE 2020

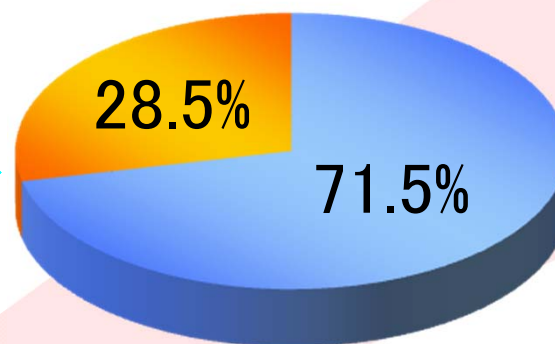
—The Global Leader of Medical Solutions—



第2ステージ

Strong Growth 2017

(2013/4～2017/3)



2020年3月期

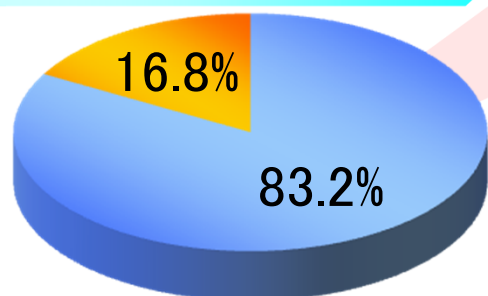
売上高 2,000億円以上

営業利益 250億円以上

営業利益率 12.5%

第1ステージ

SPEED UP III



2013年3月期

売上高 1,325億円

営業利益 134億円

営業利益率 10.2%

2017年3月期

売上高 1,700億円

営業利益 180億円

営業利益率 10.6%

2) 中期経営計画 数値目標

	2013/3 実績	2017/3 中期経営目標	4年間の 平均成長率
売上高	1,325 億円	1,700 億円	6.4%
国内売上高	1,102 億円	1,215 億円	2.5%
海外売上高	223 億円	485 億円	21.4%
営業利益	134 億円	180 億円	7.5%
ROE	12.7%	13.0 %	

地域別海外売上高

	1ドル83円/1ユーロ106円	1ドル90円/1ユーロ118円	
米州	80 億円	195 億円	24.6%
欧州	56 億円	100 億円	15.5%
アジア州	75 億円	170 億円	22.5%
その他	10 億円	20 億円	17.2%

3) 中期経営計画 重要課題

世界トップクオリティの追求

グループ全部門の
全ての活動で品質を確保

技術開発力の強化

地域別事業展開の強化

コア事業のさらなる成長

新規事業の創造

企業体質の強化

グローバル化・効率性・スピードを
追求した経営

4) 2014年3月期の取り組み

①コア事業のさらなる成長

先進国市場

新興国市場

臨床検査機器

生体情報
モニタ

治療機器

脳神経系群

循環器検査機器

検体検査機器

センサ技術 (etCO₂、SpO₂、NIBP、esCCO、aEEG、導出18誘導心電図 etc.)

IT ソリューション

センサ技術を
自前で持つ
唯一の
モニタメーカー

13/3-14/3期の主な新商品



脳波計
EEG-1250
2012年8月
発売

電極接続箱
JE-120A
2012年6月
発売



運動負荷
心電図
測定装置
STS-2100
2013年7月
発売(国内)

心電計
ECG-2350
2013年発売
(海外)



血球計数器
MEK-6500
2013年1月
発売

臨床化学
分析装置
CHM-4100
2013年7月
発売(国内)



送信機
ZS-630P/611P
2013年発売



携帯型受信機
ZT-210P
2013年6月
発売(国内)



AED-2150/2151/2152
2012年4月発売



デフィブテック社製
AED
2012年11月買収

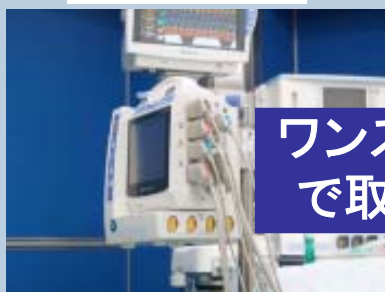
生体情報モニタリング事業

競争力の高い搬送用モニタ、ベッドサイドモニタの投入

搬送用モニタ

ケアサイクルを通じたシームレスなモニタリング

手術



手術室ベッドサイド
モニタの入力
ユニットとして使用

搬送



- ・当社モニタの中で
最小・最軽量
- ・患者データの
連続性を実現

重症 病棟



重症病棟の
スタンドアロン
モニタに早変わり

2013年度内発売予定

ワンステップ
で取り外し

電源に
接続

高機能 ベッドサイドモニタ

（手術室・重症病棟向け）



手術室画面



CCU画面



- ・多彩な画面レイアウト
- ・サイト別に特化した機能
- ・診断・治療デシジョン
サポート機能付き

2013年度内発売予定

生体情報モニタリング事業

医療の安全、業務効率の改善に貢献する商品展開



いつでも、どこでも 複数の患者さんの
モニタリングデータを表示



モバイルビューワー
QP-989P
2013年6月
発売



患者さんのそばで 画面表示機能の
ない送信機の波形と数値を確認



携帯型受信機
ZT-210P
2013年6月
発売(国内)

独自のセンサ技術を活かしたブランド力向上

esCCO: **世界初**心電図とSpO₂による心拍出量モニタリング

世界最小・最軽量クラスメインストリーム方式CO₂センサ



FDA、薬事申請の為
esCCOの臨床評価中

esCCOの臨床データ収集
@ San Francisco VA Medical Center



アジア各国の拠点病院で
esCCO、CO₂の講演



世界各国
でPR

循環器検査機器群

- ・ラインアップの拡充
- ・導出18誘導心電図を活かしたブランド力向上

導出18誘導心電図※

synECi18
Synthesized Electrocardiogram

- ・国内外で臨床研究を推進
- ・世界各国でPR



アメリカ心臓協会



韓国救急医学会

安静心電図



中国で開発・生産した
普及タイプの心電計
(海外向け)

心電計ECG-2350

長時間心電図



長時間心電図記録器 RAC-2503

- ・超小型・軽量
- ・最大7日間記録可能

運動負荷
心電図



運動負荷心電図
測定装置STS-2100

虚血性心疾患の診断、
心臓リハビリ等に対応

心臓カテーテル
検査



診断用心臓
電気刺激装置
SEC-5104

自由なレイアウトと
簡単操作で迅速検査

※12誘導心電図から右側誘導、背部誘導の波形を演算処理で導出

②地域別事業展開の強化

日本: 2025年医療・介護の将来像に合ったソリューションの構築

急性期病院市場の
さらなる深耕

生体情報モニタ



循環器検査機器群



治療機器



システム

臨床情報システム

Prime Gaia

診断情報システム

PrimeVitaPlus

地域連携

地域連携先の病院、
診療所の攻略

検体検査機器



血球計数

MEK-6500



CRP

HbA1c

CHM-4100

血球計数、CRP、HbA1c
検査をセットで提案

- ・生活習慣病の療養
管理として、診療所での
検査増加に対応
- ・日本光電初の糖尿病
(HbA1c)検査機器



中小病院

PrimeCreat



診療所

Prime Linc

先端医療をリードするアメリカにおけるプレゼンスの確立

生体情報モニタ

・新商品の投入



・Prefense™を
足がかりに、包括受注



・Prefense™4セット
を含む14百万ドル
の包括商談を受注
・今期、来期で納品

セントフランシス・ヘルスシステム
オクラホマ州

・直販/GPO対策強化

脳神経系群

・全米トップ50病院に
注力



クリーブランドクリニック

・著名な病院、ドクター
との良好な関係が
新興国での事業に波及



アイオワ大学木村教授
による筋電図検査の講義
@アルゼンチン
リハビリ学会

救命救急分野

 **defibtech**



新製品

技術開発力の強化 {
・アカデミアとの共同開発・臨床研究
・ファンド投資※を通じた先端技術の探索



CO₂センサの臨床研究
@フィラデルフィア小児病院

インホスピタル

プレホスピタル

※Emergent Medical Partners II L.P.: 著名な医療機器開発者、心臓外科医のトーマス・フォガティ氏が投資責任者。

成長をけん引する新興国市場でのシェア拡大

事業基盤の強化

日本光電
ミドルイースト

上海光電

中国

新興国向け普及機の
開発・生産拠点として展開

パキスタン
サウジアラビア

日本光電
インド

南アフリカ ●駐在員配置

中近東・アフリカ

主要国に現地
駐在員を配置

2013年度内順次

東南アジア

NKSバンコク

2013年10月
営業開始

日本光電
シンガポール

日本光電シンガポール
傘下にNKSバンコクを設立

日本光電
ラテンアメリカ

日本光電
ブラジル

中南米

コロンビアに中南米
(ブラジルを除く)を担当
する日本光電ラテン
アメリカを設立

2013年11月

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】経営企画室

【連絡先】TEL03-5996-8003